地域医療に係る医師の確保

■現状

西胆振圏域における医療は、基幹病院として4つの総合病院（日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、伊達赤十字病院、市立室蘭総合病院）を配し、病院相互の連携（病病連携）や、病院と診療所との連携（病診連携）を拡充しながら地域住民が安心できる医療提供をしてきている。

しかし、診療科の統合調整や医科大学への医師引き上げなどで診療科の偏りや医師の偏在が相次いでおり、医師不足の状況である。

■課題

●救急医療・検診等における医師の負担増大

救急医療に関しては、外傷度合いや疾病により救急を担う医療機関が限定され、医師への負担が増大していることから、地域的にバランスのとれた適正な医師の配置が必要である。

特に、住民の大病院・専門医志向を背景に軽症者の夜間受診が増加し、総合病院勤務医への負担増大は大きな問題であり、基幹病院への医師の安定配置が必要である。

また、診療以外の各種検診や予防接種の種類・回数の増加に伴い、小児科・産婦人科・外科・呼吸器内科等の医師の配置に苦慮している。

●胆振西部地域における整形外科、呼吸器内科及び循環器内科の充実

胆振西部地域における整形外科、呼吸器内科及び循環器内科の医師不足により適切な診療を受けにくく住民への影響が大きい。

■要望内容

●恒常的な医師不足や医師偏在の解消と医師の負担軽減を図り、地域包括ケアシステム構築に向け在宅医療も視野に入れた西胆振における安定した医療の提供体制を確立できる適正な医師の配置

●胆振西部地域における整形外科、呼吸器内科及び循環器内科の充実を図るために必要な医師の確保